



SEINAN CHANTEURS

THE 40th ANNUAL CONCERT

2017

平成29年度福岡市民芸術祭参加



2017年12月9日(土) 14:00開演
アクロス福岡シンフォニーホール

主催：西南シャントゥール 共催：西南学院グリークラブOB会
後援：福岡市・(公財)福岡市文化芸術振興財団・福岡市教育委員会・西日本新聞社・福岡県合唱連盟
福岡音楽団体連絡会・西南学院大学同窓会・西南学院大学学術文化会OB/OG連合会



2016・《西南学院創立100周年》第39回定期演奏会／アクロス福岡シンフォニーホール

西南シャントゥール
会長／的野 恒一

本日は師走の何かとお忙しい中、私共西南シャントゥールの『第40回定期演奏会』にご来場賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、西南学院創立100周年記念事業の一環として、10月に『東京公演』、12月に福岡公演(定期演奏会)を開催し、意義深い思い出に残る年となりました。

今年は、恵まれない子供達の施設や老年寄りの施設を訪問し、ミニコンサートを開き、社会福祉活動にも取り組んで行くことができました。これからも積極的にこの活動ができればと思っています。

さて、本日のプログラムの第一ステージは、高田三郎作曲の「啄木短歌集」です。夭折の歌人、石川啄木の短歌の中から八首を演奏いたします。啄木の世界を堪能して頂けたらと思います。第二ステージは、西南学院グリークラブOB有志による賛助出演で、多田武彦作曲の男声合唱組曲「吹雪の街を」です。シャントゥールより若手のアカペラの男声合唱の魅力をお楽しみください。休憩を挟んで第三ステージは、福永陽一郎編曲の「ニュー・ムーン」です。ブロードウェイで上演されたミュージカルでソプラノとナレーターとの共演です。皆様にラブソングの世界が広がることを願っています。最終ステージは、この時期に併せての「クリスマス・キャロル集」です。西南学院グリークラブ現役、西南グリー東京OB会OB有志の参加もあり、総勢94名での大合唱となります。お楽しみくださいますように。

今年も、80歳代のメンバーは私を加えて12名が頑張っております。

本演奏会が皆様にとりまして寛ぎと癒しの場となりますことを願っております。

最後になりましたが、本演奏会の開催にあたりご協賛くださいました企業各位、並びに共催、後援を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

西南学院グリークラブOB会
会長／黒江 量二

お寒いなかご多忙中にもかかわりませず、西南シャントゥールの演奏会にご来場くださいました皆様方に心よりお礼を申し上げます。

創立101周年を迎える西南学院に学び、伝統あるグリークラブに籍を置いた学友が卒業後再び集い、西南シャントゥールとして男声合唱活動を開始してから63年目を迎えます。定期演奏会は40回目になりますが、寄る年波と聞いながらハーモニーをこよなく愛し、地域の文化活動や福祉活動にも取組んでいるメンバーにOB一同元気をもらっています。

更に、賛助出演で懐かしいアカペラ曲を聴かせてくれます「西南グリーOBメンバーズ'80～」、クリスマスキャロルに任意メンバーが応援出演してくれます「西南学院グリークラブ東京OB会」という後輩OB合唱団の牽引役も果たしてくれています。

本日は年間活動の総決算として、作詞者、作曲者、編曲者それぞれの思いを、心を込めて披露してくれますよう期待しています。

一方、部員0から再興し7年目を迎える西南学院グリークラブですが、専門家の指導を必要としながらも、日頃は学生指揮者の下で毎週の練習と、学院行事への参加や定期演奏会の開催に積極的に取組んでいます。

しかしながら、引き続き部員の確保に苦労しております。少ない部員で伝統あるクラブの再建に取組んでいる後輩達のため、OB会も全力を挙げて支援活動を行っておりますが、何れ大学を目指す音楽好きの中高生諸君がお近くにいらっしゃいましたら、西南学院大学とグリークラブを案内していただきますよう、ご来場の皆さまのお力を借りできましたら幸甚に存じます。

今後とも、西南学院グリークラブ及びOB合唱団の活動に対し、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

[I 部]

yell : Ah Seinan !

作詞/Alma O'Norean Graves・作曲/石丸 寛

I. 男声合唱とピアノのための『啄木短歌集』

- I やわらかに
- II 頬につとう
- III いのちなき
- IV 病のごと
- V 不来方の
- VI ふるさとを
- VII はずれまで
- VIII あめつちに

作歌/石川啄木
作曲/高田三郎
編曲/須賀敬一指揮: 徳永和彦
ピアノ: 江頭玲衣
詩朗読: 中島理恵

II. 《贊助》西南グリーオ Bメンバーズ'80～

男声合唱組曲『吹雪の街を』

- I 忍路
- II また月夜
- III 夏になれば
- IV 秋の恋びと
- V 夜の霞
- VI 吹雪の街を

作詩/伊藤 整
作曲/多田武彦

指揮: 井手敏彦

— 休憩 —

[II 部]

III. 男声合唱組曲『ニュー・ムーン』

作詞/オスカー・ハマースタインⅡ世
作曲/ジグムンド・ロンバーグ

編曲/福永陽一郎

構成・補曲/都築義高

指揮: 徳永和彦

ソプラノ: 永渕くにか

ピアノ: 西尾麻衣子

ナレーション: 辻本彩乃

I 《Overture》《序曲》

II Softly As In A Morning Sunrise

《朝日のごとくさわやかに》合唱

III 《Incidental Music》《間奏曲》

IV One Kiss

《一度の口づけ》ソプラノソロ・合唱

V Wanting You

《あなたを求めて》ソプラノソロ・合唱

VI Lover Come Back To Me

《恋人よ我に帰れ》合唱

VII Stout-Hearted Men

《勇敢な男たち》ソプラノソロ・合唱

IV. 『クリスマス・キャロル集』

指揮: 佐藤棟也

I 久しく待ちにし 讚美歌94番

詞/9世紀ラテン語聖歌 曲/15世紀聖フランシスコ女子修道会歌集Processionale

II 見よバラの咲けるを (エサイの根より) 讚美歌96番

詞/15世紀ドイツ・キャロル 曲/Alte Katholische Geistliche Kirchengeseng 1599
訳詞/安田二郎 編/福永陽一郎 (東京コラリアーズ・クリスマス曲集より)

III あら野のはてに 讚美歌106番

詞/18世紀フランス・キャロル 曲/18世紀フランス・キャロル

訳詞/安田二郎 編/福永陽一郎 (東京コラリアーズ・クリスマス曲集より)

IV もみの木

詞/Joachim A. Zarnack 曲/Ernst G. Anschutz 編/北村豊一

V 神の御子は今宵しも 讚美歌111番

詞/18世紀ラテン語聖歌 曲/John F. Wade
編/福永陽一郎 (東京コラリアーズ・クリスマス曲集より)

VI さやかに星はきらめき 讚美歌第二編219番

詞/John S. Dwight? 曲/Adolphe C. Adam 編/G. B. H.

男声合唱とピアノのための「啄木短歌集」

元東海メールクワイア団員
片山和弘

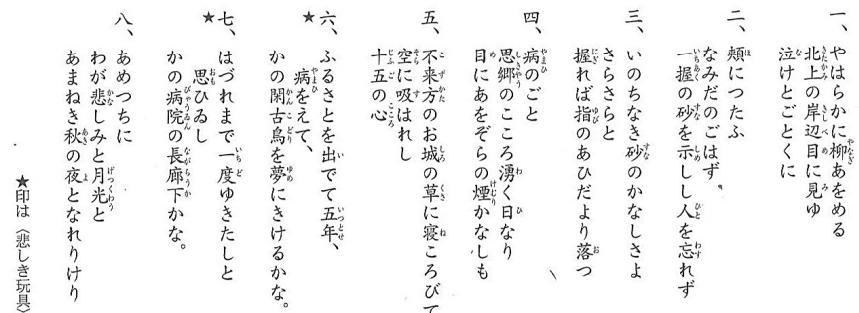
『1956年は石川啄木の生誕70周年に当たり、その記念の集いが東京でも開催された。勤務先の国立音楽大学の中館耕蔵理事長が岩手のご出身で、その会の役員でもあられたので、そこから啄木短歌の作曲依頼が私に来、私はそれを受託したのであった。

NHKなどからの依頼の仕事としての作曲は別として、それまでに作って来た歌詞のある作品で、私が自分で決定したのではない詩人の詩によって書くのはこれが初めてであった。しかし、これは喜んで引き受け、歌集からの選出は私自身でしたのである。

歌集の短歌は全部読み、結果として〈一握の砂〉から6首、〈悲しき玩具〉から2首を選んだ。』
(高田三郎著(來し方)より)

この曲は、もとは独唱曲で、作曲者によって合唱曲に直された(混声合唱1988年、女声合唱1991年)後、須賀敬一編曲・指揮、合唱・東海メールクワイアによる男声版が初演されたのは1999年6月である。ちなみに今年、2017年は啄木生誕131年、没後105年にあたる。

高田三郎が2つの歌集・全745首から厳選した8首はどれも名歌、秀歌とされるもので、それがある意図のもとに構想を練り、配列を決めて組曲を構成した。



高田は啄木の憧れ、理想を象徴する「空」に注目した。組曲の前・中・後に朝・午・夜の空が歌い込まれている4種(1、4、5、8)を置いて骨格を作り、前後に啄木歌の2大テーマである、いのちの歌(2、3)と望郷のうた(6、7)を配置した。つまり、いのちと望郷を歌いながら時はまるで啄木の人生をなぞるかのように、朝から午、夜へ或は春から秋へと静かに移り流れていくという趣向。

三行書きは2つの歌集の大きな特徴だが、思ったことを自由に歌うために「現在の歌の調子を破る」手段として、啄木が〈一握の砂〉の最終原稿を出す時点で急遽とり入れたものである。一行読み下しの短歌を詩人のセンスを生かして歌の形を三行書きに改めることで歌を散文に近づけた三行詩である。啄木歌が「歌であり詩である」と言われる所以。口語(はなしことば)でわかりやすい啄木歌には読む人それぞれが自分のことのように感じてしまう親しさがある。その解釈はほぼ詠んだ通りのことだが、啄木がどんな状況で作った歌であるか、その背景を知れば感銘は一層深い。「悲しき移住者」として東京に在る啄木が現在の心境『一生に二度とは帰って来ないものの一秒』を詠んだものである。

== 1. 懐かしい風景が促す痛切な望郷の念、2. 一

《概略・石川啄木の生涯》

石川啄木(本名一)は明治19年(1896年)2月20日、岩手県南岩手郡日戸(ひのと)村の曹洞宗日照山常光寺に生まれた。父は住職の石川一禪(いっせん)、母は工藤カツ、長女サダ10歳、次女トラ8歳がいた。啄木が1歳の時、一家は隣村の渋民村万年山宝徳寺に移り翌年妹ミヅが生まれた。幼少時啄木は虚弱であったが、父母の溺愛と二人の姉の献身的な愛を満身に受けて育った。田舎の小貴族とでもいうべき僧家にあって、仏事を曾み和歌を嗜んだ父の姿などからごく自然に仏教的思考、夢囮気を身につけ貴族的資質が形成される同時に、驕慢的性向も顕著であった。

明治24年5月(5歳)学齢より早く渋民尋常小学校入学、神童と呼ばれた。同28年、首席で卒業して4月、盛岡高等小学校入学。明治31年卒業4月、盛岡中学校へ128人中10番の優秀な成績で入学。上級生の金田一京助、野村胡堂らとの文学交友が始まり、金田一を通して新詩社の機関紙「明星」を知る。盛岡女学校生、堀合節子との恋愛もあって与謝野晶子の浪漫派短歌に夢中になった。校内回覧雑誌「爾後多摩(にぎたま)」、岩手日報、「明星」に短歌を発表。明治35年10月、2度にわたるカニニンググに対する體罰处分を受けて盛岡中学校を中退。文学で身を立てるべく上京するが、わずか3ヶ月で挫折。父に伴なされて帰郷、英書などを読みながら再起を期す。

「明星」に投稿した詩が好評だったことから詩集刊行を計画。上京、奔走して明治38年5月、詩集「あこがれ」刊行、同月、堀合節子と結婚。しかし前年

に父が官費滞納のため住職を罷免されており、啄木が一家を支えねばならなかった。渋民小学校の代用教員をつとめながら小説を書き始めたが、父の復職が不可能になると明治40年5月、啄木は北海道へ渡り、函館、札幌、小樽、釧路を新聞記者をしながら流浪、現実直視の機会となった。

明治41年4月、啄木は小説作家になるべく家族を函館に残して単身海路上京する。しかしこちら書いても小説は売れず生活困窮。焦燥と懊惱の中で突如250余首もの歌が湧出した。一方、金田一京助の友情がもたらした一時の安穏の中で一編、新聞連載小説を書いた。翌42年、東京朝日新聞に校正係の職を得て少ないといえど定収入を得ることになったが、なかなか家族を呼べず、小説も成果上がらず自虐的生活に墮ちる。「ローマ字日記」の煩悶と凜獄の試練、更には家族上京後の家庭問題(妻節子の家出事件)の精神的打撃を経て啄木は新生する。自己の生活の実態から生々した詩情を汲みあげる独自の文学思想を確立、以後すぐれた評論、短歌、小説を次々と発表する。

明治43年12月、歌集「一握の砂」刊行後身体の不調を覚える。翌44年2月、慢性腹膜炎で入院、後に結核性のものと判明。1年余に及ぶ自宅療養の末明治45年4月13日死去(26歳)した。その後6月、土岐哀果の手によって第二歌集「悲しき玩具」が刊行された。

啄木の歌集 〈一握の砂・悲しき玩具〉

啄木は生涯を絶えざる闘いの中に生きたがそれは必敗の闘いだった。その敗れ続ける闘いを闘わねばならぬ自身は誰かによって愛惜されねばならない。啄木の自己に対する愛惜、これが歌の核心といえる。つまり「我を愛する歌」は全啄木歌の主題である。

啄木の2編の歌集は共に東雲堂書店から出版されている。(一握の砂)(551首、四六判290頁、定価60銭)は啄木の手によって明治43年12月に、(悲しき玩具)(194首、四六判139頁、定価50銭)は病床の啄木から託された土岐哀果によって啄木の死後、明治45年6月に刊行された。

哀果のローマ字三行書き歌集「NAKIWARAI」にヒントを得た、口語体による三行歌は「現在の歌の調子を破る」啄木の野心的試みである。1頁に2首配置した。しかし(一握の砂)と(悲しき玩具)では三行書きの内容に大きな違いがある。(一握の砂)は、最終編集時に急遽、一行書き下し文を三行に改めたもの(分かち方に工夫があるものの)であるのに対し、(悲しき玩具)は作歌時点から三行を意識、句読点・ダッシュ・行かえ・字空き・字余りなどの技法が駆使されて、調子はより自由な三行詩になっている。

(一握の砂) 551首の作歌時期内訳は明治41年67首、42年26首、43年458首で圧倒的多数の43年作が基調

になっている。啄木はこれをテーマ別5章に編集構成した。1章〈我を愛する歌〉151首、2章〈煙(煙一・二)101首、3章〈秋風のこころよさに〉51首、4章〈忘がたき人々〉133首、5章〈手袋を脱ぐとき〉115首。1・5章が現在の心境、2章・青春・幼少期と4章・北海道流浪の追憶回想で現在に主眼を置いた上で、現在→過去→現在と巡る意図的な構成が為されている。歌風が異なる3章は金田一京助の友情への感謝表明。巻末の8首は生後わずか24日で夭折した長男真一への挽歌。(一握の砂)は「わが若き日」を葬る意志と、それにもかかわらずその過去を愛惜せずにいられない心理によって成立している。

(悲しき玩具)は「一握の砂以後」と表題された歌稿ノートを写している。但し巻頭2首は哀果が紙片にメモされていたのを入れた。表題名も哀果が啄木の歌論から選んでつけた。歌集の後に二編の評論が付加されている。194首中109首が病中歌で、現実の暗い生命的の愛惜に苦しむ姿がじんんでいる。しかしどんな苦境にも人間の権利としての「安楽ウェルビング」の希望を忘れないかった。すべて明治43年11月以降の作であり、歌論が端的に表明されて、(一握の砂)の一部に見せている甘い感傷はここにはない。

男声合唱組曲『吹雪の街を』

作詞の伊藤 整は、小説家、文芸評論家であるだけでなく詩人でもあった。1926年、当時21歳で小樽の中学校教員だった時に、詩集『雪明りの路』を刊行した。それは、北海道石狩湾岸の自然や風土を歌った詩が中心であるが、家族や数人の女性などへの感情を表現した抒情的な詩も含まれていた。

作曲家多田武彦は伊藤 整の詩からいくつか作品を発表していて、第一作目は「雪明りの路」(昭和35年)であり、第二作目は「緑深い故郷の村で」(昭和52年)、そして第三作目がこの「吹雪の街を」(昭和54年)である。

この『吹雪の街を』は、詩集『雪明りの路』から女性への想いが表面に出ている詩を中心に選んだ男声合唱組曲で、多くの男性が若い頃経験するあの淡い青春の感傷、心の痛みを浮き彫りにした詩の世界を、多田武彦の叙情性が高く詩に寄り添った表現とハーモニーの工夫を追求した表現で仕上げた作品になっている。伊藤 整の育った北海道・小樽辺りは、落葉松・栗・白樺などが茂り、いたどりが高く生え、11月から4月頃までの半年間は雪が積もっているという。清らかな春、短い夏、寂寥感漂う秋、厳しい霜(あられ)、そして、身も心も凍つてしまいそうな雪…、その北海道特有の自然もこの作品に込められている。

I. 忍路

故郷の自然と様々な思い出、後半の郷愁を帯びたメロディーに愛しい人の面影が重なります。

II. また月夜

季節は晩春から初夏。月明かりの中を愛しい彼女を想い、歩きさまよう姿が描写されています。

III. 夏になれば

愛しい人の幸福をいつまでも…と願う純粋な気持ちをテナーソロが切々と歌い上げます。

IV. 秋の恋びと

秋の気配に若者の悩みと孤独が重なり、別れの予感を感じさせ、その美しいメロディーは北欧の雰囲気すら漂わせます。

V. 夜の霰(あられ)

冬の到来、激しく容赦なく叩きつける霰。厳しい自然とその中で生きる人々の姿が浮かび上がります。しかし、それは冬の夜にも激しく音をたてる彼の感情を描いているかのように響くのです。

VI. 吹雪の街を

ひとつの恋の終わり。別れを覚悟してもなお忘れられぬ思い、情熱の再燃を求めてさまよう。1曲目と同じメロディーが再び歌われます。

『吹雪の街を』

伊藤 整

I. 忍路

谷にそうて
枯れた林の傍をのめるやうに直滑降してから
僕たちは雪を蹴立てて
次ぎつぎに jumping stop した。
そして目の下に
吹雪の忍路の村を覗いた。
また暑い八月には
紺の海を 小舟に帆を張つて
まつぐらに
静かな忍路の湾へのり入れた。
月夜にはよく下駄がけで歩いて通つた。
忍路は蘭島から岬を越したところ
僕の村からも帆走出来るところ。
そこに頬のあはい まなざしの佳い人があつて
演風のなでしこのやうであつたが。

II. また月夜

この月のひかりの中なら
どこまでも知らずに歩いて行くだらう。
あゝ私の手や長い草に
燐のやうに反射してゐる やはらかい光り。
私ひとりではないやうな
誰かと歩いてゆくやうな明るい路。
あんまり美しいので
手にとつて見てみたいひかり。
こんな月のひかりの中で逢つたら
彼女はなんにも言はないで
私についてくるだらう。
二人が嘘をついてあたことがよくわかるだらう。

III. 夏になれば

夏になれば みな浴衣で涼み
川すぢの祭には 華やかな灯がつく
あそこの家にゐて
なにか寂しいときも 夜ねいる布団の襟にも
お使にあの坂道を下るときも
あなた自らさへ気づかずにつくる
あの笑顔の幸福さをなくしないやうに。
いつも鳩のやうに胸ふくらませて、
たまさか街で逢へば
何となく笑まじげに挨拶する、あの素直な美しさを
生涯失はないやうに。
私はそれのみのために、
嫁ぐ日になつても
母となつてまでもの
あなたを 心から祝福しよう。
街では誰もありがちな事だが
この世を私もしんじるために
あなたの笑顔にだけは不幸がうつらないやうに。

IV. 秋の恋びと

木の葉はおしなべて散つてしまつた。
秋はいたる所に
つめたい異人の瞳を覗かしてゐる。
瓜さね顔の まつ毛の黒い
もの言はぬ恋びとよ。
お前はかづかずの思ひを燃やして
毎日 だまつて
私と人知れぬ目を交わす約束を忘れはしないが
あゝお前はその白い手を
何時になつたら私へさしのばすの。
秋はすっかり木の葉を落して
明日にも冬が海を鳴らしてやつて来るだらうに
お前はその思ひを
何時になつたら私に語るのだろう。

V. 夜の霰

夜目にしろく 糸のやうに降りつむ霰。
屋根に跳ね 木々に触れ
さうして 凍つた道に目立つて
外套の襟に積つて
あゝ さあと林に吹き入つては鳴り
村を襲うた夜の霰。
障子にあかあかと燃え立つて映る
炉ばたの大きい肩と 烹仕事。
その薫を打つ音 打つ音を消し
屋根を叩いて
霰は糸のやうに降りつんである。
あゝ 夜目に白く煙つて。

VI. 吹雪の街を

歩いて来たよ 吹雪の街を。
言ひ出されねば
それで忘れたのだと思つてゐるのか
ゆかりも無かつたといへば
今更泣いても見たいのか。
あゝ今宵吹雪が灯にみだれる街。
女心のあやしさ
いつかは妻となり 母となるべき身だのに
いづれ別れる若い日のに
さりげなく言つて見ないか。
その美しい日に思つたことを。
そのまなざしで思つたことを。
あゝ譬へよもなく慕はしかつた
十九の年に見た乙女。
あゝ吹雪はまつ毛の涙となる。
私はいつまでも覚えてゐるに。
十九の年に見た乙女のまなざしを
私はかうしていつまでも忘れずにゐるに。

男声合唱組曲『ニュー・ムーン』

1928年、作詞は「王様と私」・「サウンド・オブ・ミュージック」などを書いた、オスカー・ハマースタインⅡ世 (Oscar Hammerstein 2nd, 1895年7月12日～1960年8月23日)。作曲はジグムンド・ロンバーグ (Sigmund Romberg, 1887年7月29日～1951年11月9日) ハンガリーでユダヤ人の家庭に生まれ、ウィーンで技術者としての勉強の傍ら作曲を学び、イギリスを経て1909年に渡米し、オペレッタの作曲で成功を収めた。

「ニュー・ムーン」公演前の試演では、全くの不評で、一旦公演を中止し脚本・音楽・キャストに大幅な変更、挿入歌「朝日のごとくさわやかに」「恋人よ我に帰れ」が加わり、初演され、509回公演の大ヒットとなった。

ミュージカルの先駆をなす彼の曲は、ロンバーク・メロディとして親しまれ、挿入歌はジャズのスタンダード・ナンバーとしてもよく知られている。

この度、演奏する「ニュー・ムーン」は、1962年に、福永陽一郎氏が、畠中良輔氏と慶應ワグネル・ソサイエティ男声合唱団のために編曲した4曲に、都築義高氏（現東海メールクワイアー会長、元中部日本放送プロデューサー）によって、オリジナル・ボーカルスコアを参考に曲目の追加、ソプラノ独唱と合唱、ナレーションが加えられた構成・補曲版です。

ブロードウエイの舞台を彷彿とさせるロマンティックな一時をお楽しみいただければ幸いです。

「ニュー・ムーン」あらすじ

1792年のニューオリンズ。フランスの革命派貴族ロベール・ミシオンは、国王派から追われ、この地の舟商人ボノワール家で召使となって姿を隠している。ロベールがその家の娘マリアンヌに恋をするのを友人フィリップが見て、こんな時に恋をするのは危険だと諭すが、彼は聞く耳を持たない。

☆ 合唱「Softly As In A Morning Sunrise」（朝日のごとくさわやかに）

マリアンヌを恋しているもう一人の男に、「ニュー・ムーン」号の船長ポール・デュバルがいた。彼は、積み荷を積んで港に到着したが同時に、国王の命によってロベールを追っているリボーも乗せて来た。ロベールも一度はリボーの手から逃れたものの、仮面舞踏会に出て、マリアンヌに愛を語っている時に捕まってしまう。

☆ ソプラノソロ・合唱「One Kiss」（一度の口づけ）

☆ ソプラノソロ・合唱「Wanting You」（あなたを求めて）

ロベールは「ニュームーン」号でフランスへ送還されることになる。マリアンヌが裏切ったと、船上でリボーから嘘を聞かされたロベールは力を落とす。一方マリアンヌはロベールを忘れることができず、デュヴァル船長と結婚したいと嘘をついて、同じ船に乗り込み

☆ 合唱「Lover Come Back To Me」（恋人よ我に帰れ）

と歌う。

航海の途中、海賊船が「ニュームーン」号を襲い支配するが、この海賊はフィリップ達で、ロベールは彼らと共にフロリダ半島の島に上陸する。そこで、フランス革命が成功したことを知り、理想の共和国をその島に作ろうと決心する。ロベールはマリアンヌを誤解していたことを悟り、二人は結ばれる。

☆ ソプラノソロ・合唱「Stout-Hearted Men」（勇敢な男たち）

(都築義高・楽譜解説より引用)

「ニュー・ムーン」

日本語訳 塩田 保

I 朝日のごとくさわやかに

ああ、愛が私にやってきた、ときめいて、やさしく甘い陶酔、最もくらむロマンのきらめきそれは気まぐれで、浮気っぽく、小賢しいそれは永遠のものなのだろうか

ああ、朝日のごとくさわやかに
愛の光が新しい一日にそっと忍び入る

おお、輝きわたる日の出の様に
燃えさかる熱いキスは愛を固める印し
しかし、その誓いは、破られる定めなのだ

愛の情熱は、あなたをわくわくさせ、愛を深め天高く昇らせる。
またその情熱はあなたに死ぬ思いをさせ地獄に落とし入れる

これがお決まりの結果、
あなたを輝かせた光は
また夕べの落日の様にそっとすべてを持ち去る

II 一度の口づけ

今年は1792年。^{*1}
世の中はすっかり変わってきた
わたしは時代遅れと知りながら、唯一人の愛する人との
真実の愛を探し求めている
楽しく遊ぶ沢山の男友達を相手にするのが今の流行り
わたしは何故かそんなやり方が良いとは思えない
わたしは唯ひとりの人を待ち続ける

多くの人と愛し合い、背の高い人も低い人も
多くの口づけもすれば、もっと楽しくなる

私は違った道を行く それは私のただひとつの夢
一度の口づけは愛するたった一人の為に
ひとつの愛は彼だけのもの
ひとつの言葉、ひとつの誓いが私は彼だけのものと告げる
彼の腕に抱かれる魔法の様な一夜、情熱の花が大きく開き
そして私は生涯だ一人の彼だけを愛して
世界中の他の誰にも目もくれない

あなたはロマンの花咲くおとぎ話を読んでいるのね
あなたの英雄ガラハッド^{*2}に泪しているのでしょうか？

間もなく、私の騎士が私を探し出すでしょう
後ろからそっと近付き、私を馬に乗せて
そして速くに連れて行くでしょう

笑いたければ私を笑ってもいい
私は必ず私の愛する人を見つけます。見ていいなさい

*1 フランス王制崩壊の年

*2 聖杯を発見した円卓の騎士

III あなたを求めて

私の心は、或る人を求めて痛み続ける
その人はあなたのこと
あなたは私の物語が本当だと知っている
あなたは見たままを信じなさい

私もまた、いつか誰かを愛するでしょう
どこからかその人はやって来て
そしてその人もあなたの話す物語を
同じように聞くでしょう

あなたが欲しい、来る日も来る日も
私はあなたが欲しい
いつの夜も、あなたをこの高鳴る胸に抱き締めることを願い続けている
あなたが欲しい。

私が夢見るあの天国にいるあなた
しかし私の願いが叶う天国は
遙かに高いところにあるようだ
しかし私の声があなたの耳に届く
ほんの僅かな望みにすがりついている
夢は空しい。

私が目覚めた時にあなたは傍にいない
あなたが欲しい、
世界中の誰もあなたに代わるものはない
この世であなただけが私の憧れる人
私の憧れの全て

IV 恋人よ我に帰れ

あなたは去っていった、私は止めなかった
私は結ばれた紳を断ち切ってしまった
私は貴方を忘れようと思ひ、過去に背を向けようとした
でもあなたに会えたあの魔法の様な一夜は
永遠に私の心から消えることがない

空は青く、天は高く、月は新しく
そして愛も同じだった

高鳴る私の心は歌っていた
“恋人よ、あなたはどこにいるの？”と

愛に満たされた日々、
その日々は過ぎ去り、
あなたは行ってしまった

私の痛む心は歌っている
“恋人よ我に帰れ”と
あなたの小さな仕草や言ったことまで思い出して
私は本当にひとりぼっち
私の歩く全ての道は、あなたが共にいる様に思い
だから本当にひとりでさびしいのです

空は青く、夜風は冷たい
月は新しが、愛は古くなつた

そして私がここで待ち続けている間も
私の心は歌い続ける
“恋人よ我に帰れ”と

V 勇敢な男たち

夢を追い求める君たち、
今立ち上がるなら夢は君たちのものだ
夢を事実に変えるのは君たち次第なのだ
強い魂と精神があれば、恐れることはない
必ずやり遂げられる。

燃える心は、他の心を燃え立たせる
強い男が行く道を示せば、他の強い男たちも従う
私に、信じる正義の為に戦う何人かの勇者を与える。
始めに十人の勇敢な男たちがあれば
私は直ぐ一万人の大軍にして見せる
おお、肩と肩を接し、恐れを知らず
前に進んで、より強大になる
勇者たちが団結すればこれを遮り邪魔するものは
此の世には無い

『クリスマス・キャロル集』

12月はクリスマスを迎える季節です。街中ではクリスマスソングが流れています。しかし教会ではキリストの降誕を静かに謙虚に待ちわび、救い主を送ってくださった神に感謝をささげる時です。このときに歌われる讃美歌が「クリスマス・キャロル」です。

「クリスマス・キャロル」の中には、『待降節』(キリストの再臨を待望し、降誕の準備をする期間)と『降誕節』(キリストの誕生とその公現を記念する期間)にそれぞれ歌われる曲があります。今日はの中でもよく歌われる親しみのある曲を皆さまの平安を祈りつつ、心を込めて歌いたいと思います。

久しく待ちにし（待降節）【讃美歌；94番・讃美歌21；231番】

歌詞に中に出でくる「インマヌエル」は、メシア(救い主)であるイエス・キリストのことです。この曲は、9世紀頃、グレゴリア聖歌として作られました。現在の曲の形は、1856年に合唱指揮者のトマス・ヘルモアが5節の形に編曲したものです。闇の中にイエスの降誕である光を待ちわびる願望の曲で、強いリリズムが音楽全体に溢れています。

見よバラの咲けるを（エサイの根より）（待降節）【讃美歌；96番・讃美歌21；248番】

15世紀ルネッサンスの時期に、ドイツのライン地方で生まれたキャロルです。曲の中に出でくる「エッサイ」とは、旧約聖書の古代イスラエル王国第2代王ダビデの父で、新約聖書のイエスの両親の祖先にあたり、イエスがダビデの血統から誕生することを示しています。この曲は冬に咲くバラについての中世の寓話を用い、イエス降臨の奇蹟を清らかな旋律で歌っています。

あら野のはてに（降誕節）【讃美歌；106番・讃美歌21；263番】

18世紀近世フランスの伝統的なキャロルです。これを、1862年、ジェイムス・チャドウィックが英語に翻訳「Angels We Have Heard On High」としました。このキャロルは普通「Gloria」の調子（チューン）で歌われます。歌詞の中にあるラテン語の「Gloria in excelsis Deo」は“天には、神の栄光がありますように”の意味です。

もみの木

この曲の詩は「子供の不思議な角笛」に載っている16世紀の古い詩に基づいて、1820年にドイツの教育者ヨアヒム・A・ツアルナックが恋の歌として書いたものです。モミの木の葉は一年中緑色を保ち、それは「変わらぬ心」のシンボルであり、生命、希望を象徴する色もあります。このもみの木の緑の不变性から、もみの木がクリスマスツリーとして使われるようになり、クリスマス・キャロルとしても親しまれています。

神の御子は今宵しも（降誕節）【讃美歌；111番・讃美歌21；259番】

この曲はイングランド人、ジョン・F・ウェードにより、1751年に作曲されたとされています。もとは17、18世紀の古いラテン語の聖歌「Adeste Fideles」（来なさい、信徒たちよ）です。1841年にはフレデリック・オークレイにより英訳され「O Come All Ye Faithful」として広く歌われています。

さやかに星はきらめき（降誕節）【讃美歌第二編；219番】

この曲は1847年にフランス人アドルフ・アダンにより書かれたクリスマス・キャロルで、原題は「Cantique de Noel」（クリスマスの讃美歌）です。原詩はプラシド・カボーによるものですが、英語圏ではジョン・S・ドワイトによる「O Holy Night」がよく知られています。御子イエスの生誕を祝う気持ちが感動的に歌い上げられています。

それでは、どうぞお楽しみください。

(記／指揮者：佐藤棟也)

 株式会社 山本文房堂

●本店／中央区大名2丁目4-32 〒810-0041 ☎092(751)4342

●アーツスクール／中央区大名2丁目4-32 〒810-0041 ☎092(751)4342

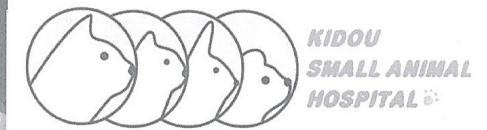
*通信販売を承ります。お気軽におたずねください。

URL <http://www.yamabumi.com> E-mail yamabumi@anet.ne.jp

福岡市城南区

田島5-4-18

☎ 092-862-1222



KIDOU
SMALL ANIMAL
HOSPITAL

不動産のことなら何でもご相談下さい

誠心誠意あ手伝いさせて頂きます



日本野鳥の会会員
中垣不動産

福岡県知事(4)第14016号
〒818-0121 太宰府市青山3-27-2
電話 092-918-6487
<http://www.nakagaki-fudousan.com/>

東京公演雑感①

東京で歌いました。

西南Glee東京

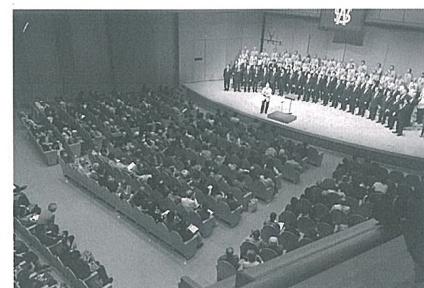
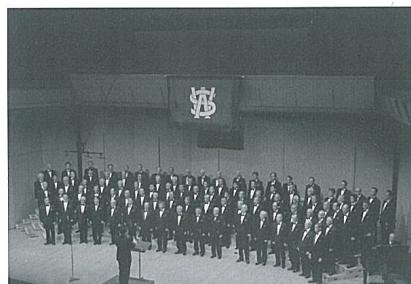
西南シャントゥールと西南Glee東京（SGT）OB合唱団は、昨年の2016年10月8日に東京公演（第一生命ホール）を開催しました。これは西南学院大学が創立100周年を迎えた事を記念する特別な演奏会でした。

東京で演奏会を開く事は、これまでシャントゥールの中で何回となく話題になっていました。しかしながら、福岡から遠く離れた東京で演奏会を開くのは簡単ではなく、「いつの日か」あるいは「その内に」となっていました。

一方、西南グリー東京は、7年ほど前からシャントゥールの福岡での定期演奏会に有志が参加するようになりました。徐々に互いの交流が深まり、両者で東京演奏会の構想を練り始めました。コンサートホールの選定、演奏会の広報、チケット販売、60数名もの宿泊ホテルの確保などなど…何から何まで初めての経験でした。準備には2年もの歳月を要した東京演奏会は、2016年の秋によく実現、そして西南学院100周年に相応しいものになりました。当日来場の西南卒業生の感想を1つ紹介します。

「卒業してから初めて西南の校歌を聴いて感激。しかも、あんな素敵なかつてのシャントゥールとグリーOBの演奏で。妹も感激していました。Schaffner学長を久し振りにお見掛けして本当に懐かしい時間でした（ステージで開会挨拶）。東京という地で、こんな西南の雰囲気に浸れるなんて感激の一語につきました。まるで西新のキャンパスに居るみたいでした。」

東京公演は、シャントゥール、SGT、そして西南学院の3者の参画で実現しました。もし第二回の東京演奏会があるとすれば、それは三位一体の協力が得られる時に実現するかも知れません。



第一生命ホール会場風景



演奏会前日の練習（大井バプテスト教会）



リハーサル



荒谷 俊治 氏



信長 貴富 氏



小久保 大輔 氏

東京公演雑感②

昨年、西南学院創立100周年の記念事業の一環として、団員の念願であった東京での初めての演奏会を開催しました。2016年10月8日、シャントゥール58名、東京在住の西南グリーOB41名、合計99名の大合唱でした。会場は東京在住西南卒業生や合唱団体などで満員で盛況でした。

校歌齊唱・シャフナー西南学院大学学長の挨拶から始まり、聖歌集・男声合唱とピアノのための「時代」・男声合唱アラカルト・男声合唱組曲「柳河風俗詩第二（思い出）」を演奏しました。

会場には、指揮者の荒谷俊治氏、作曲家の信長貴富氏、故福永陽一郎氏の夫人と福永先生の孫で指揮者の小久保大輔氏の皆様にご来賓としてご臨席いただきました。

演奏会後のパーティでは各先生より、御講評をいただき、和やかなひと時を味わいました。
シャントゥール・東京OB会メンバーを含め感動の東京公演でした。



世界最高峰

の技術レベルを求められる

新幹線車両のコーティング

日本が世界に誇る新幹線。その新幹線に携わって
技術を役立てているメリッキ会社は全国でたった3社。
その中の1社として日々研鑽に努めています。

福岡メリッキ技研工業株式会社

梶原 博司

本社工場 〒812-0006 福岡市博多区上牟田1丁目2番6号
TEL (092)411-3107 FAX (092)411-3416
<http://www.f-mekki.co.jp> E-mail kajihara@f-mekki.co.jp

1年間の演奏活動

2016.12.3(西南学院創立100周年記念)西南シャントゥール第39回定期演奏会

12.22 福岡女学院「メサイア」コンサート

2017. 1.21 総会

1.26 臨時総会

6.11 福岡県合唱連盟福岡支部合唱祭

8.19 出前ボランティアコンサート-1

9.16 出前ボランティアコンサート-2

12. 9 西南シャントゥール第40回定期演奏会

アクロス福岡シンフォニーホール

アクロス福岡シンフォニーホール

西南コミュニティ・センター

福岡中部教会

ミリカローデン那珂川文化ホール

母子寮

グランガーデン福岡浄水

アクロス福岡シンフォニーホール



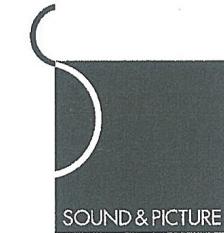
福岡県合唱連盟福岡支部合唱祭



出前ボランティアコンサート(母子寮)



出前ボランティアコンサート(グランガーデン福岡浄水)



株式
会社

音と映像

(旧社名:RKB毎日ミュージックシステム)

〒810-0074 福岡市中央区大手門3丁目11番23号

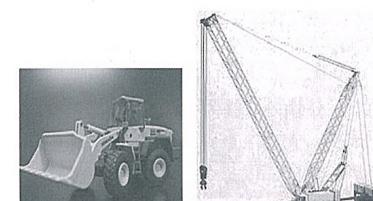
Tel 092-771-1231 Fax 092-715-9206

URL <http://www.oto-eizo.com>

ミニチュアカーで楽しむ はたらくクルマの世界

はたらくクルマの魅力は、なんといっても、その重量感と力強さにあります。ミニチュアカーはその雰囲気を気軽に楽しめ、実際に持ってみるとズシリと重く、ハデさはないけれど実車に迫るリアルさが見逃せません。そこには子供を引き付けるだけでなく、本物志向の大を満足させるだけのクオリティと奥深さがあります。コレクティブな商品を扱う通販専門店の下記へお尋ねください

クレーン・トラック・建設機械の
ミニチュアカー専門ショップ



**Model Truck
Factory**
<http://www.mt-factory.com>

モデル トラック ファクトリー
<http://www.mt-factory.com>
メール info@mt-factory.com

〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東3-13-1

トラクターなど農業機械の
ミニチュアカー専門ショップ



Farming Machine Miniatures/Boom Boom Garage
ブーム・ブーム・ガレージ

Boom Boom Garage
<http://www.bb-garage.com>
メール info@bb-garage.com

〒818-0137 福岡県太宰府市青葉台3-21-16



ソプラノ／永渕 くにか *Nagafuchi Kunika*

長崎市出身。長崎県立長崎西高等学校、活水女子大学音楽学部声楽学科卒業。福岡教育大学大学院演奏学講座声楽領域修了。

大橋睦子、永吉美恵子、吉田由布子の各氏に師事。

オペラ「ヘンゼルとグレーテル」(グレーテル)「コジ・ファン・トゥッテ」(デスピーナ)「愛の妙薬」(アディーナ)「カブレーイティとモンテッキ」(ジュリエッタ)「秘密の結婚」(エリゼッタ)(演奏:九州交響楽団)などに出演。文化庁の学校への芸術家派遣においてオペラ「ヘンゼルとグレーテル」(グレーテル)で巡演。2010年まで長崎市による文化事業アウトリーチ登録アーティストとして活動。アクロス子どもたちのオペラによる文化事業で8年出演。韓国にて釜山芸術祭(演奏:釜山交響楽団)や福岡芸術祭50周年記念祭オープニング公演『祝宴』オペレッタ「こうもり」ハイライトに公募オーディションによりアーティストを務める。宗教曲ではモーツアルト「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」のソリストを務める。西日本オペラ協会理事。福岡ゾリスト会員。

「西高コーラス」指揮者。筑紫文学園高等学校コーラス部ウォイストレーナー。芸能事務所アクティブ博多講師。九州女子大学・短期大学非常勤講師。



ピアノ／西尾 麻衣子 *Nishio Maiko*

北九州市出身。福岡女学院高等学校音楽科、東京芸術大学ピアノ科卒業後、渡米。サンフランシスコ州立大学大学院で室内楽を学びアヴァロス賞を受賞して修士課程修了。その後、ニューヨークのジュリアード音楽院コラボレーティブピアノ科にて奨学生を受け室内楽、伴奏の分野においてジョナサン・フェルドマン、マルゴ・ギャレット両氏の元で更なる研鑽を積み修士課程修了。在学中よりアレックサンダー弦楽四重奏のメンバー、サンフランシスコ・オペラ オーケストラのメンバー、チャールズ・キャッスルマン(ヴァイオリニスト)などと共に演奏。

ニューヨークを拠点に室内楽、伴奏ピアニストとして活躍し、ジュリアード音楽院にてスタッフピアニスト(伴奏要員)を務める他、伝統のあるアスペン音楽祭(米国・コロラド州)にて公式伴奏ピアニストを務める。

9年に渡る米国滞在を終え、2013年秋より日本を拠点に活動を開始する。九州交響楽団のメンバーなどと共に演奏。2015年より「Maiko Nishio Project」と題した室内楽コンサートを開催している。福岡女学院高等学校音楽科非常勤講師、中村学園大学・短期大学部非常勤助手。maikonishio.com



ナレーター／辻本 彩乃 *Tsujimoto Ayano*

宮崎県出身。鹿児島大学法文学部人文学科卒業。鹿児島大学大学院人文社会科学研究科修了。KTS鹿児島テレビ放送で情報番組のリポーターをした後、現在はNHK福岡放送局「はっけんTV」のキャスターとして出演中。

祝 西南シャントワール 第40回定期演奏会 公演のご盛会をお祈り申し上げます

平成30年度 西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」公演
オペラ
ヘンゼルとグレーテル

エンゲルベルト・ファンペーディング作曲《全3幕／ドイツ語上演：字幕スーパー付》
指揮：奥村哲也 演出：松本重孝 管弦楽：九州交響楽団 出演：西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」

2018年11月23日(祝・金) 14:00開演予定 アクロス福岡シンフォニーホール

お問い合わせ 西日本オペラ協会事務局 ☎070-5272-2409(担当:上田)
<http://www.nishinihonopera.jp/> (西日本オペラ協会)公式ホームページ。公演のお知らせもあります。



指揮／徳永和彦 *Tokunaga Kazuhiko*

福岡高等学校在学中合唱部に所属、指揮を担当。
1961年西南学院大学商学部卒業。

在学中、西南学院グリークラブ創立40周年記念演奏会にて学生指揮を担当。
1997年委嘱作品、多田武彦作曲：男声合唱組曲「三崎のうた・第二」、
又、2012年委嘱作品、多田武彦作曲：男声合唱組曲「中也の雨衣」を初演。
1996年より西南シャントワール指揮者。



指揮／佐藤棟也 *Sato Tohya*

福岡高等学校在学中合唱部に所属。

1970年西南学院大学文学部フランス語専攻卒業。

在学中、西南学院グリークラブ創立50周年記念演奏会、東京・大阪記念演奏会にて学生指揮担当。創立50周年記念委嘱作品 清水脩作曲「木下夕爾の三つの歌」を初演。
卒業後、石丸寛氏の東京フィルハーモニックソサイアティ他各合唱団で合唱活動。
現在、福岡音楽団体連絡会副会長。2006年より西南シャントワール指揮者。



ピアノ／江頭玲衣 *Egashira Rei*

福岡教育大学芸術コース音楽専攻卒業。

ピアノを太田昭子、福田伸光、唐崎由起子、畠瀬由美子の各氏に師事。

日本歌曲伴奏法を塙田佳男氏に師事。

2013年、福光OX-AROSA声楽セマーサミナーにおいて奨励賞受賞。

文化庁芸術家派遣事業による学校訪問、保育園や福祉施設での訪問コンサートなど九州を中心に多様な演奏活動を行なう。

現在、西南シャントワール、混声合唱団ボロロッカピアニスト。西日本短期大学非常勤講師。

西南シャントワールは昭和29年(1954)、西南学院グリークラブ(大学男声合唱団)OBの54期生が中心となり、広くOBに呼び掛けて結成されました。現在も学院卒業者のみのメンバーで構成されています。

シャントワール(Chanteurs)という名称は、当時のアメリカ海軍の男声合唱団(The Sea Chanters)とフランスの男声合唱団(Companion de la Chanson)を参考にし、フランス風に洒落て、西南シャントワール(Seinan Chanteurs)と命名されました。

結成された年には、早々に「全日本合唱コンクール」への出場を目指し、10月の西部合唱コンクール福岡支部予選で1位、11月の西部合唱コンクールでも、当時の有力合唱団を押さえて1位となり、西部地区での代表として「第7回全国合唱コンクール」に出場して、1、2位に僅差の、堂々3位に入賞しました。翌年も全国大会に出場し4位の成績を残しています。

現在は活動の中心を年に一度の「定期演奏会」に置き乍ら、所属する合唱連盟主催の「合唱祭」への出演を始め、他合唱団とのジョイントコンサートやゲスト出演活動を続けています。

又、定期演奏会においては、委嘱作品の初演にも力を注ぎ注目されています。

《主な委嘱初演作品》

多田武彦 作曲：
男声合唱組曲「思ひ出」詩/北原白秋
(後に、「柳河風俗詩・第二」に改名) (1994)
男声合唱組曲「三崎のうた・第二」詩/北原白秋 (1997)
男声合唱組曲「中也の雨衣」詩/中原中也 (2012)

大島ミチル 作詞・作曲：
男声合唱とピアノによる「生命の誕生」(2004)
「悲しい歌はきらいですか」
(NHK「御宿かわせみ」主題歌男声合唱版 2004)

信長貴富 編曲：
男声合唱とピアノのための「時代」
～ニユーミュージックと呼ばれた歌たち～ (2007)
(詞曲: さだまさし、荒井由実、財津一夫、小田和正、中島みゆき)



《第Ⅱステージ賛助出演》 西南グリーOBメンバーズ'80～

西南学院大学、というよりは「西南学院グリークラブ」を1980年以降に卒業したOBを中心としたメンバーで構成されています。

西南学院グリークラブOBの合唱団としては、永年にわたって福岡の地で一般男声合唱団として活動し、本日「第40回定期演奏会」を開催する先輩の「西南シャントゥール」があります。今回のメンバーの中にもシャントゥールで活動している仲間もいますが、多くの仲間は卒業後、福岡の地を離れたり、仕事や家庭、地域の活動などで「男声」合唱から遠ざかっていました。

8年前、西南学院グリークラブ創立90周年を期して開催された「グリークラブフェスティバル」に海外をはじめ、全国各地から300名ものOBが参集し、一緒に歌ったときに、「やはり男声合唱をやりたい」、「昔の仲間たちと西南グリーの歌声を再現したい」という声が上がり、翌年から数回にわたり西南シャントゥール「定期演奏会」で歌う機会を与えていただきました。

西南グリーOBメンバーズ'80～のメンバーは、西南グリーを、そして男声合唱を愛する思いは変わっていません。これからも忙しい中、少しづつでも活動を継続したいという思いでいっぱいです。今回も東京OB会だけでなく、九州・山口の各地から仲間が集まりました。月に2回の練習。それさえもなかなか全員が集まることは難しく、東京OB会の仲間と一緒に練習できるのは演奏会直前のみ、という厳しい練習環境ではありますが、指揮者の井手敏彦氏、そしてメンバーの情熱で、少しでも学生時代の歌声を再現でき、みなさまに男声合唱の魅力をお伝えすることができれば幸いです。



指揮／井手 敏彦 *Ide Toshihiko*

西南学院大学経済学部卒 83期生。大学2年の時副指揮者兼セカンドテナーのパーティーリーダーを務め、3年の冬、アメリカ演奏旅行で正指揮者デビュー、成功に導く。卒業後は郷里長崎県波佐見町に帰り、小学校の教員になる。ほぼ同時に地元の児童合唱団の指導を受け、次いで男声合唱団「オールドダックス」、「波佐見混声合唱団」の3つの合唱団を20数年指導を続けていた。

今までの「西南グリーOBメンバーズ'80～」でも指揮をして、今後若手の指導者として期待されている。

1st Tenor

安倍 伸一

2nd Tenor

井手 敏彦

Baritone

伊徳 諭

Bass

綾部 武利

大山 輝久

内田 圭一

谷野 繢

井手 輝実

城 保之亮

日下部 一徳

藤 壽

岩崎 嘉範

田 中 幸雄

篠原 隆盛

藤本 伊久磨

高田 浩光

中竹 茂美

時枝 典生

武谷 昌次

中野 克彦

原 裕一

<東京OB会>

野間 利博

野 田 誠一

広崎 公伸

緒方 良英

福田 誠司

<東京OB会>

前田 英彦

金子 泰久

宮地 純

石 丸 貴康

山 元 一憲

保家 大司

<東京OB会>

岡 田 和夫

松岡 比呂史

森 猛

大中 豊

木 下 俊彦

古瀬 哲也

八尋 研二

樋口 一法

西 田 正則

霜村 元吾

邑本 真司

堀 米 能文

杉 山 秀美

田 中 穂積

()は卒業期(西暦年次)です

〈西南シャントゥール〉

1st Tenor	2nd Tenor	Baritone	Bass
宮地 基次(54)	刀根 亨一(48)	中辻 浩一(61)	木道 昇(54)
阿部 昌弘(57)	的野 恭一(53)	鈴木 勸(62)	田中 義信(55)
高木 正志(59)	野辺 和馬(59)	石川 和義(66)	靄 喜廣(57)
中尾 武史(63)	徳永 和彦(61)	篠崎 詔二(68)	八尋 一雄(59)
日高 良公(65)	一柳 隆治(64)	森 博彦(69)	佐藤 忠芳(64)
飛松 智明(68)	下田 昭(64)	松尾 淳郎(70)	毛利 正明(65)
平塚 郁男(69)	佐藤 宗一(65)	佐藤 棟也(70)	夏秋 肇昭(66)
本山 和文(69)	黒江 量二(65)	山下 博英(71)	武藤 新(68)
宮城 研二(69)	徳永 武雄(68)	小西 真二(71)	八尋 憲二(69)
天村 倫人(70)	石松 茂(69)	里中 健(71)	角 正信(70)
倉地 進(71)	山本 武裕(69)	梶原 博司(74)	中垣 登(72)
坂部 雅夫(71)	高川 弘幸(70)	朝山 澄彦(76)	岩崎 嘉範(80)
大司 真(73)	山元 一憲(70)	伊徳 諭(80)	宮地 純(83)
杉本 哲也(75)	眞鍋 敬介(71)	藤 寿(86)	福田 誠司(85)
山口 聰(75)	窪田 敏博(71)		綾部 武利(85)
豊福 純生(78)	山下 悅朗(72)		
	砥上 雅壽(75)		
	藤井 政重(75)		

〈第3ステージ賛助〉

中竹 茂美(83)
安倍 伸一(85)
田中 幸雄(91)

〈西南学院グリークラブ東京OB会：第4ステージ出演〉

堀米 能文(78)	霜村 元吾(75)	森 猛(62)	樋口 一法(75)
木下 俊彦(80)	杉山 秀美(75)	松岡比呂史(81)	大中 豊(82)
岡田 和夫(81)	田中 穂積(85)	保家 大司(86)	邑本 真司(89)
村上 正道(87)	古瀬 哲也(86)	八尋 研二(86)	
西田 正則(91)		金子 泰久(87)	
石丸 貴康(93)		緒方 良英(88)	

〈西南学院グリークラブ現役：第4ステージ出演〉

安田 善樹(18)	戸川 拓海(20)	小池 修(19)	泉 昂史郎(18)
橋本 賢吾(19)	中村 賀亮(20)	宮崎 裕理(19)	仰木 喬文(19)
田上 宏樹(20)		桐原 勇仁(20)	桑野イドリス(21)



西南学院グリークラブ 第61回定期演奏会

- 2017年12月23日(祝・土)
- 西南コミュニティセンター・ホール



博多 エクセルホテル東急 おかげさまで開業25周年

レストラン ケヤキ
おすすめメニュー 20% OFF

ご予約の際に「西南シャントウールのプログラムを見た」とお伝え下さい。

レストランケヤキは熊本県阿蘇「大塚牧場」との産地直送契約により生産者の顔がわかる「安全・安心」な食材をヘルシーな「あか肉」にてご提案しております。オープンキッチンより伝わるライブ感と炭火焼の香り、五感に響くひとときをお楽しみ下さい。

(LUNCH) あか牛ランチフルコース

(LUNCH & DINNER)

あか牛セットメニュー

A 2,800円→2,240円

B 5,200円→4,160円

C 3,500円→2,800円 D 1,850円→1,480円

- アミューズ
- シェフのおすすめスープ
- 本日の魚料理
- 阿蘇あか牛モモ肉ステーキ
- サラダ
- パンorライス
- デザート
- コーヒーor紅茶

- 阿蘇あか牛ロース肉 150g
炭火焼ステーキ
- スープ
- サラダ
- パンorライス
- デザート
- コーヒーor紅茶

- 阿蘇あか牛モモ肉 150g
炭火焼ステーキ
- スープ
- サラダ
- パンorライス
- デザート
- コーヒーor紅茶

- 阿蘇あか牛ハンバーグ
炭火焼
- スープ
- サラダ
- パンorライス
- デザート
- コーヒーor紅茶

※ご利用の際は前日までに予約が必要です。※上記メニューに限り割引対象です。※その他の割引サービスとの併用はできません。※お会計時に20%割引致します。

※その他、ご不明な点などございましたらお気軽にお問合せ下さいませ。※除外日：12/23(土)24(日)25(月)です。※有効期限：2018/1/31(水)までです。

Restaurant
ケヤキ

ご予約・お問合せは Tel.092-262-6219 (レストラン直通)
博多エクセルホテル東急 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲4-6-7
Tel.092-262-0109 (代表) Fax.092-262-5578
ランチ 11:30 ~ 15:00 (L.O.14:30) ディナー 17:30 ~ 22:00 (L.O.21:30)

maizurudo
TEL 092-622-8058
舞鶴堂印刷

九州電力グループ 住宅型有料老人ホーム

グランガーテン福岡浄水

〒810-0022

福岡市中央区薬院4-13-17 ☎ 0120-282-600

毎週木・金曜見学・相談会開催

【福岡市有料老人ホーム設置運営指導指針に基づく類型及び表示事項】

- 類型 / 住宅型有料老人ホーム
- 居住の権利形態 / 利用権方式
- 利用料の支払い方法 / 選択方式
- 入居時の要件 / 入居時自立
- 介護保険 / 在宅サービス利用可
- 居室区分 / 全室個室

クリスマスおめでとうございます

きよしこの夜

きよしこの夜 星はひかり
すくいのみ子は まぶねの中に
ねむりたもう いとやすく

きよしこの夜 み子の笑みに
めぐみのみ代の あしたのひかり
かがやけり ほがらかに

予告

西南シャントウール 第41回定期演奏会

2018年10月20日(土)14:00 開演予定
アクロス福岡シンフォニーホール

柳河風俗詩・ミュージカル学生王子・フォスター曲集・日本の笛

先行予約指定席券 2018年7月10日受付開始予定

尚、アンケート用紙に、お差し支えなければ、お名前、ご住所をご記入下さい。
後日、演奏内容及びご予約方法をご案内致します。
*アクロス・チケット・センターでの販売は8月1日より行う予定です。



since 1954